

# 平成30年度 決算

問合せ  
財政課  
☎ 73-8008

一般会計の歳入の決算額は、税込のほか、国・県支出金の増などにより、前年度を上回りました。

一方で、歳出の決算額は、福井しあわせ元気国体や石塚橋架替事業などを実施しましたが、雪害対策費の減により、前年度を下回りました。

## 市の貯金 — 基金残高

15種類ある基金（貯金）の総額は、約58億円となっています。そのうち49.8%を占めるのが、市の財政をやりくりするための貯金である「財政調整基金」です。平成30年度は、3億5800万円を取り崩しています。



## 市の借金 — 市債残高

市の借金である市債の現在は約297億円です。平成30年度は、一般会計で約2億円減少しており、その他の会計でも約5億円減少しています。公共施設の建設や改修の際に長期的な借金をする理由は、建設時の納税者だけではなく、施設を利用する次の世代にも負担を求めることで世代間の公平性を保つためです。

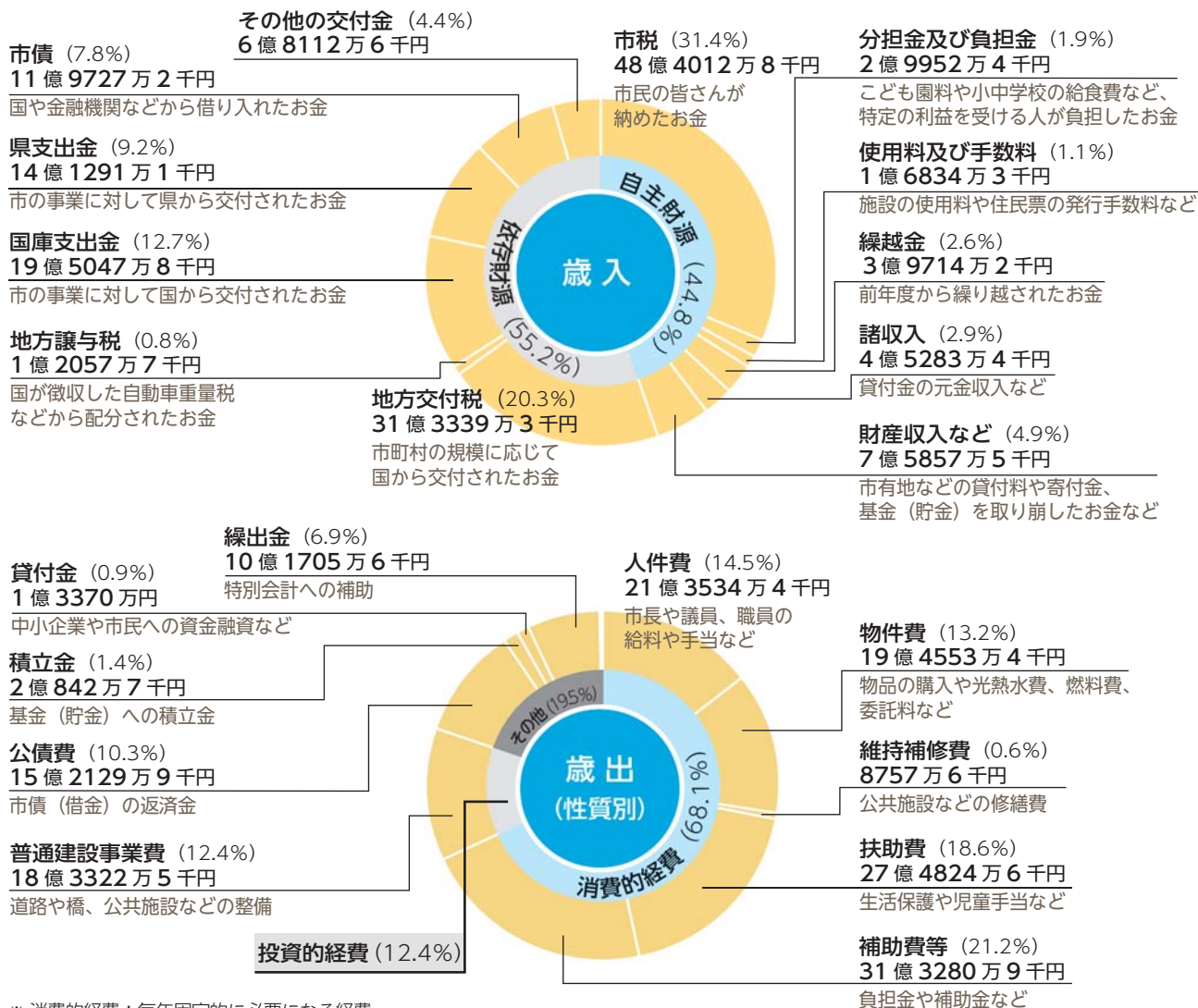


### 一般会計歳入決算額

**154億** 1230万3千円  
(対前年度比0.5%増)

### 一般会計歳出決算額

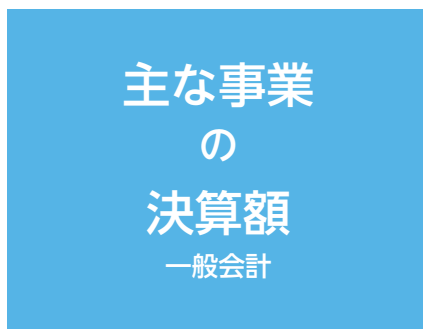
**147億** 6321万6千円  
(対前年度比1.2%減)



※ 消費的経費：毎年固定的に必要な経費。  
投資的経費：道路、公園、学校などの整備に対する経費。普通建設事業費と災害復旧費からなる。

## 各会計の決算額 (単位：千円)

		歳入総額 A	歳出総額 B	差 引 C=A-B	繰越すべき財源 D	実質収支 C-D
<b>一般会計</b> (市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計)		15,412,303	14,763,216	649,087	114,921	534,166
<b>特別会計</b> (保険料などの特定収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています)						
国民健康保険特別会計		3,185,931	3,130,628	55,303	0	55,303
後期高齢者医療特別会計		344,728	343,575	1,153	0	1,153
農業者労働災害共済特別会計		2,420	2,356	64	0	64
<b>企業会計</b> (一般の会社と同じように、独立した収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計)						
水道事業会計	収益的収支	856,099	760,737	95,362	0	
	資本的収支	76,321	232,108	△ 155,787	16,635	
工業用水道事業会計	収益的収支	4,306	14,396	△ 10,090	0	
	資本的収支	0	0	0	0	
公共下水道事業会計	収益的収支	1,215,451	1,203,915	11,536	9,919	
	資本的収支	675,965	1,120,390	△ 444,425	62,285	
農業集落排水事業会計	収益的収支	20,796	19,256	1,540	0	
	資本的収支	4,400	7,157	△ 2,757	0	



## 歳出を目的別で見た決算額と市民1人当たりの決算額

※ ( ) 内は1人当たりの決算額。平成 31 年 3 月 31 日現在の  
住民基本台帳人口 (2 万 8190 人) で計算しています。

<b>民生費</b> 47 億 7379 万 6 千円 (16 万 9344 円) 認定こども園運営、 障害者・高齢者福祉など	<b>土木費</b> 21 億 4434 万 6 千円 (7 万 6068 円) 道路、橋、公園、市営 住宅の整備や維持管理など	<b>教育費</b> 18 億 2092 万円 (6 万 4595 円) 学校、公民館、体育施設 の整備や維持管理など
<b>公債費</b> 15 億 2129 万 9 千円 (5 万 3966 円) 市債 (借金) の返済	<b>総務費</b> 13 億 153 万 9 千円 (4 万 6170 円) 戸籍や住民票の管理、 防犯対策、財産管理など	<b>農林水産業費</b> 7 億 8075 万 9 千円 (2 万 7696 円) 農林水産業の振興や農道、 排水施設の整備など
<b>衛生費</b> 7 億 6347 万 8 千円 (2 万 7083 円) ごみ処理、予防接種、 妊婦・乳児健診など	<b>商工費</b> 6 億 4373 万 9 千円 (2 万 2836 円) 企業誘致、商工業の振興、 観光推進など	<b>消防費</b> 5 億 4967 万 1 千円 (1 万 9499 円) 消防施設や災害対策など
<b>議会費</b> 1 億 6998 万 9 千円 (6030 円) 議会の運営	<b>労働費</b> 5289 万 3 千円 (1876 円) 雇用対策、市民への 生活資金融資など	<b>その他</b> 2 億 4078 万 7 千円 (8541 円) 基金 (貯金) への積立金 や災害復旧費など

目的別で見ると、民生費が全体の約 3 分の 1 を占めています。これは認定こども園運営や児童手当、医療・介護保険、生活保護など福祉事業の比重が大きいです。

歳出決算額 (目的別)  
147 億 6321 万 6 千円  
市民 1 人当たりの決算総額  
**52 万 3704 円**



## あわら市の健全化判断比率と資金不足比率

### 健全化判断比率

区分	早期健全化基準	財政再生基準	H 30
実質赤字比率	13.63%	20.00%	(赤字なし)
連結実質赤字比率	18.63%	30.00%	(赤字なし)
実質公債費比率	25.0%	35.0%	6.9%
将来負担比率	350.0%	(基準なし)	38.0%

※ 早期健全化基準は、各市町村の財政規模に応じて異なり、表中の基準はあわら市に適用される基準です。

### 資金不足比率

全ての公営企業会計 (水道事業会計・工業用水道事業会計・公共下水道事業会計・農業集落排水事業会計) において、資金不足は発生していません。

平成 30 年度決算に基づく各指標は次のとおりで、いずれの比率も基準以下となっています。



あわら市は  
**基準をクリア**  
しています

# 令和元年度上半期の 予算執行状況 をお知らせします

## 一般会計歳入歳出予算執行状況 (令和元年 9 月末現在)

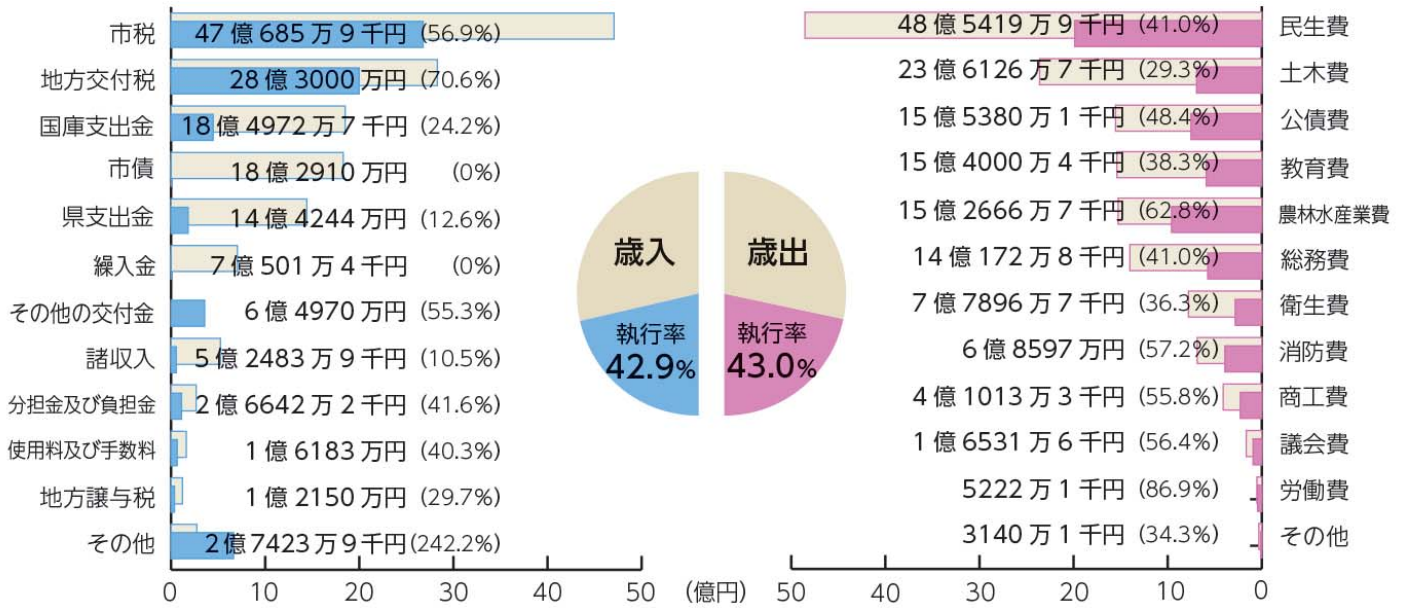
グラフの数値は予算現額、( ) 内は執行率です。

153 億 6167 万 4 千円 予算現額

予算現額 153 億 6167 万 4 千円

65 億 9605 万 3 千円 収入済額

支出済額 66 億 1134 万 2 千円



\* 予算現額には平成 29 年度、30 年度からの繰り越し分を含んでいます。